記者発表資料

平成２４年１０月１５日
東北技術事務所

建設技術公開「ＥＥ東北’１２」開催のお知らせ

～ 世界が驚く復興目指せ！新技術が築く未来の東北 ６６１技術の展示 ～

建設関連分野に係わる新材料・新工法、その他時代のニーズに対応して開発された新技術を公開し、その普及を図ることを目的とした「ＥＥ東北’１２」を開催しますのでお知らせします。

今回のＥＥ東北は**２年ぶりの開催**で、東日本大震災以降初さらに**過去最大規模での実施**となります。新たに**復旧復興工事を支援する技術分野**を設け技術展示やプレゼンテーションを行います。

○開催日時：平成２４年１０月２４日（水）１０時～１６時３０分
１０月２５日（木）　９時３０分～１５時
開会式を１０月２４日（水）１０時より屋内展示場入口で行います。

○開催場所：「夢メッセみやぎ」展示場 （仙台市宮城野区港３－１－７）
入場は無料です。当日、「夢メッセみやぎ」と「多賀城駅（JR仙石線）」を連絡する無料シャトルバスを運行します。

○実施概要：新技術展示会　２９５社による６６１技術の展示
新技術プレゼンテーション
各発表テーマ別
「復旧復興」１３技術　「建設段階」８技術
「維持管理」８技術　「防災安全」８技術

○そ の 他：「ＣＰＤＳ（継続学習制度）認定講習」に登録
登録機関：（一社）全国土木施工管理技士連合会
プログラム名称：建設技術公開「ＥＥ東北’１２」
登録番号：１８３５７５（１０月２４日）、１８３５７４（１０月２５日）

（発表記者会）宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、塩釜市役所記者クラブ

（問い合わせ先）
「ＥＥ東北」実行委員会事務局
東北地方整備局　東北技術事務所
副所長　鹿野（かの）　安彦（やすひこ）
施工調査課長　伊藤（いとう）　圭（けい）
住所：多賀城市桜木３丁目６－１　電話022-365-8047

「ＥＥ東北’１２」の概要
世界が驚く復興目指せ！新技術が築く未来の東北

○目　的

建設事業に係わる新材料・新工法その他、時代のニーズに対応して開発された新技術を公開し、その普及を図ることにより、技術開発を促進するとともに、良質な社会資本の整備を通じて地域の発展に寄与することを目的としています。

○主　催

ＥＥ東北実行委員会　（委員長：東北地方整備局 企画部長）

［構成団体名］

(社)日本建設業連合会 東北支部、(一社)日本道路建設業協会 東北支部、(一社)日本建設機械施工協会 東北支部、全国コンクリート製品協会 東北支部、(一社)全国特定法面保護協会 東北地方支部、東北建設業協会連合会、(社)東北建設協会、(社)日本埋立浚渫協会 東北支部、(一社)建設電気技術協会 東北支部、東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、東日本高速道路㈱ 東北支社

○後　援

(公社)土木学会 東北支部、(一社)建設コンサルタンツ協会 東北支部、(一財)日本建設情報総合センター、(財)先端建設技術センター、河北新報社、(株)日刊建設工業新聞社 東北支社、日刊建設通信新聞社 東北支社、日刊建設産業新聞社、㈱建設新聞社、宮城県赤十字血液センター

○実施内容

	開催月日		開催場所
開会式	平成２４年１０月２４日（水） 挨拶　東北地方整備局長、本省来賓 開会宣言　ＥＥ東北実行委員長	10:00 ～	《夢メッセみやぎ》 仙台市宮城野区港 3-1-7 ・屋内展示場 ・屋外展示場
新技術展示会 ２９５社 ６６１技術	平成２４年１０月２４日（水）	10:00 ～ 16:30	
	平成２４年１０月２５日（木）	9:30 ～ 15:00	
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	平成２４年１０月２４日（水） 「復旧復興」「建設段階」「維持管理」「防災安全」	10:30 ～ 16:00	《夢メッセみやぎ》 屋内展示場特設ステージ
	平成２４年１０月２５日（木） 「復旧復興」「建設段階」「維持管理」「防災安全」	9:45 ～ 14:30	

○「ＥＥ東北’１２」のポイント

①出展社数２９５社、出展技術数６６１技術。　（前回ＥＥ東北'１０：１４１社、３１７技術）
②ＮＥＴＩＳ登録済技術が３３７技術。　（前回ＥＥ東北'１０：１３０技術）
③東北に拠点を置く出展者が４２社。　（前回ＥＥ東北'１０：２０社）
④分野別出展技術数は、復旧復興の技術分野１６９技術、建設段階の分野１５３技術、維持管理の分野１３１技術、点検診断モニタリング等の分野２４技術、建設副産物リサイクル環境等の分野２９技術、防災安全等の分野１２０技術、その他共通の分野３５技術。
⑤東日本大震災の記憶を風化させないため、屋内・屋外展示場に「震災関連特設コーナー」を設置。
⑥その他特別展示　・仙台市消防局の展示と地震体験車[ぐらら]の体験コーナー
・大学関係研究室の展示（東北大学、宮城大学、東北学院大学）
・平成 23 年度 高校生「橋梁模型」作品発表会入賞作品展示
・移動献血車による献血コーナー（展示棟北側）

○ＥＥ東北の経緯

	ＥＥ東北’０８	ＥＥ東北’０９	ＥＥ東北’１０	ＥＥ東北’１１
開催日	H20.6.4 ～ H20.6.5	H21.6.3 ～ H21.6.4	H22.6.2 ～ H22.6.3	H 23.6.1 ～ 6.2（中止）
開催場所	みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」	みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」	みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」	みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」
出展者(社)	１５９	１５８	１４１	１７１
来場者（人）	６，５００	６，２００	６，０００	－

ＥＥ東北は平成２年から開催、ＥＥ東北’１２は２２回目となる。

○新技術プレゼンテーション　１０月２４日（水）・２５日（木）

◇１０月２４日（水）　10:30 ～ 16:00

テーマ	発表時間	出展者(ブース社名版)	プレゼンテーション技術名
復旧復興	10： 30 ～ 10： 45	一般社団法人　イージースラブ橋協会	イージーラーメン橋
復旧復興	10： 45 ～ 11： 00	WILL工法協会	WILL工法（スラリー揺動攪拌工）
建設段階	11： 00 ～ 11： 15	株式会社イマギイレ	平成２３年度推進技術　リテラＢＺ２１０
建設段階	11： 15 ～ 11： 30	日特建設（株）	ジオファイバー工法
建設段階	11： 30 ～ 11： 45	（独）土木研究所　寒地土木研究所	① 泥炭性軟弱地盤対策工マニュアルの紹介 ②表面含浸材によるコンクリートの耐久性向上
建設段階	11： 45 ～ 12： 00	（株）マルイ	簡易支持力測定器「キャスポル」による基礎地盤の支持力測定法

維持管理	12： 30 ～ 12： 45	ＰＣＬ協会	ＰＣＬ工法
維持管理	12： 45 ～ 13： 00	東北インフラ・イノベーション・コンソーシアム	橋梁の損傷評価支援システム
維持管理	13： 00 ～ 13： 15	鹿島道路株式会社	一般車を利用した多機能路面測定システム
防災安全	13： 15 ～ 13： 30	株式会社　鴻池組	液状化対策技術（Ｇｅｏ－ＫＯＮＧ工法）
防災安全	13： 30 ～ 13： 45	西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社	統合型地盤監視ネットワークシステム
防災安全	13： 45 ～ 14： 00	中央開発株式会社	双方向遠隔自動監視システム「観測王」
復旧復興	14： 00 ～ 14： 15	ＭＩＴＳ工法協会	ＭＩＴＳ工法ＣＭＳシステム ＭＩＴＳ工法ＱＳＪシステム
復旧復興	14： 15 ～ 14： 30	東急建設株式会社	補強土併用一体化橋梁
復旧復興	14： 30 ～ 14： 45	（株）ＮＩＰＰＯ東北支店	地震対策型段差抑制工法ＨＲＢ工法
復旧復興	14： 45 ～ 15： 00	ライト工業株式会社	OPTジェット工法
維持管理	15： 00 ～ 15： 15	パシフィックコンサルタンツ株式会社	交通規制のない走行型トンネル計測車両MIMM
維持管理	15： 15 ～ 15： 30	範多機械株式会社	ウォータージェット工法によるオールインワン型万能表面処理車
防災安全	15： 30 ～ 15： 45	東栄コンクリート工業(株)	アベイラスによる避難・誘導
防災安全	15： 45 ～ 16： 00	株式会社　相建エンジニアリング	プレストネット工法

◇１０月２５日（木）　9:45 ～ 14:30

テーマ	発表時間	出展者（ブース社名版）	プレゼンテーション技術名
維持管理	9： 45 ～ 10： 00	FRPグリッド工法研究会+RC構造物のﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ吹付け補修・補強工法協会	FRPグリッド増厚・巻立て工法+SRS工法
維持管理	10： 00 ～ 10： 15	ＪＩＰテクノサイエンス株式会社	道路橋の長寿命化修繕計画策定支援システム 『長寿郎／BG（ちょうじゅろう びーじー）
維持管理	10： 15 ～ 10： 30	寿建設（株）	トンネル漏水対策工法（点導水工法）
防災安全	10： 30 ～ 10： 45	日立造船（株）・東洋建設（株）・五洋建設/（neo RiSe）日立造船（株）	フラップゲート式可動防波堤＆neo RiSe（ネオライズ）
防災安全	10： 45 ～ 11： 00	(株)プロテックエンジニアリング	小規模雪崩予防柵　ＡＲＣフェンスＳタイプ（仮）
防災安全	11： 00 ～ 11： 15	いであ株式会社	・ ３次元立体モデル簡易計測技術 ・ リアルタイム画像による防災対策システム
復旧復興	11： 15 ～ 11： 30	日本国土開発株式会社	回転式破砕混交工法による震災廃棄物の有効活用について
復旧復興	11： 30 ～ 11： 45	株式会社丸万コンクリート	逆台形型擁壁「バランス工法擁壁」
復旧復興	11： 45 ～ 12： 00	安田工業株式会社 仙台工場	職人不足対策や工期短縮につながる「SFRC無筋化工法」

建設段階	12： 30 ～ 12： 45	斜面受圧板協会	三位一体の受圧板工法
建設段階	12： 45 ～ 13： 00	丸栄コンクリート工業（株）	プレキャストパラペット
建設段階	13： 00 ～ 13： 15	日本ＳＥＥＤフォーム技術研究会	短繊維補強モルタルを用いた高耐久性埋設型枠ＳＥＥＤフォーム
建設段階	13： 15 ～ 13： 30	あおみ建設株式会社	静的締固め砂杭工法　KS-EGG工法
復旧復興	13： 30 ～ 13： 45	前田道路株式会社	中央混合方式高耐久路盤材（マイルドベース）
復旧復興	13： 45 ～ 14： 00	ＦＩＬＬ　ＷＡＬＬ工法協会　ハイブリッドソイルミキサー工法研究会	ＦＩＬＬ　ＷＡＬＬ工法　ハイブリッドソイルミキサー工法
復旧復興	14： 00 ～ 14： 15	株式会社　中研コンサルタント	硬化コンクリート中の全塩分迅速測定法
復旧復興	14： 15 ～ 14： 30	海洋工業株式会社・株式会社サンテック	・がれき等の圧縮・締固めについて ・がれき処分の方法

○継続学習制度（ＣＰＤＳ）対象プログラムの認定

目的：ＥＥ東北は建設事業に係わる新技術を公開し、その普及及び技術開発を促進することを目的としています。これはＣＰＤＳにおける技術者の自己研鑽の目的と一致するため、ＥＥ東北をＣＰＤＳ対象プログラムに登録し、技術者の資質向上を図る場として位置づけるものです。

適用：(一社）全国土木施工管理技士連合会　継続学習制度（ＣＰＤＳ）ガイドライン

認定プログラム内容：

登録番号	プログラム名称	実施日
１８３５７５	建設技術公開「ＥＥ東北’１２」	Ｈ２４．１０．２４
１８３５７４	建設技術公開「ＥＥ東北’１２」	Ｈ２４．１０．２５

※開催１日あたり１プログラムとして登録（２日間では２プログラム）

※出展者、会場内レイアウト等につきましてはＥＥ東北ホームページにて御覧いただけます。
ＥＥ東北ホームページアドレス　http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/event/ee/

【参考】

一昨年開催の「ＥＥ東北’１０」の状況

１．開会式



２．プレゼンテーション



３．屋内展示



４．屋外展示



別添

「ＥＥ東北」シャトルバス　時刻表

多賀城駅　発⇒「夢メッセみやぎ」

夢メッセみやぎ　行き　発車時刻表

１０月２４日（水）	１０月２５日（木）
８時　００　１５　３０　４５	８時　００　１５　３０　４５
９時　００　１５　３０　４５	９時　００　１５　３０　４５
１０時　００　１５　３０　４５	１０時　００　１５　３０　４５
１１時　００　１５　３０　４５	１１時　００　１５　３０　４５
１２時　００　１５　３０　４５	１２時　００　１５　３０　４５
１３時　００　１５　３０　４５	１３時　００　１５　３０　４５
１４時　００　１５　３０　４５	１４時　００　１５　３０　４５
１５時　００　１５　３０　４５	
１６時　００　１５	

夢メッセみやぎ　発⇒「多賀城駅」

多賀城駅　行き　発車時刻表

１０月２４日（水）	１０月２５日（木）
８時	８時
９時	９時
１０時	１０時　００　１５　３０　４５
１１時　００　１５　３０　４５	１１時　００　１５　３０　４５
１２時　００　１５　３０　４５	１２時　００　１５　３０　４５
１３時　００　１５　３０　４５	１３時　００　１５　３０　４５
１４時　００　１５　３０　４５	１４時　００　１５　３０　４５
１５時　００　１５　３０　４５	１５時　００　１５　３０　４５
１６時　００　１５　３０　４５	１６時　００　１５　３０（最終）
１７時　００　１５　３０（最終）	１７時

建設技術公開

EE東北'12

ENGINEERING EXHIBITION TOHOKU'12

建設事業に係わる新材料・新工法その他時代のニーズに対応して開発された新技術を公開し、その普及を図ることによって技術開発を促進し、良質な社会資本整備を通じて地域社会の発展に寄与することを目的として開催します。



10月24日 WED 10:00～16:30 ▶ **10月25日 THU 9:30～15:00**

会場：**夢メッセみやぎ** 仙台市宮城野区港3丁目1-7

世界が驚く復興目指せ！新技術が築く未来の東北

新技術展示会

出展社数	295社
出展技術総数	661技術

※平成24年9月1日現在

1.復旧・復興の技術分野	169技術
2.建設段階の技術分野	153技術
3.維持・管理の技術分野	131技術
4.点検診断　モニタリング等の技術分野	24技術
5.建設副産物　リサイクル等の技術分野	29技術
6.防災・安全等の技術分野	120技術
7.その他共通の技術分野	35技術

特設コーナー

- 東日本大震災関連特設コーナー
- 仙台市消防局の展示と地震体験車「ぐらら」の体験コーナー
  ※「ぐらら」の展示は24日午後からとなります。
- 大学関係研究室の展示
- 東北地方の高校生が製作した「橋梁模型」作品展示
- 移動献血車による献血コーナー（屋外展示場）

新技術プレゼンテーション

テーマ

復旧・復興 13技術　維持・管理 8技術　建設段階 8技術　防災・安全 8技術

24日	25日
10：30～12：00	9：45～12：00
12：30～16：00	12：30～14：30

[JR仙石線多賀城駅から会場間、無料シャトルバス運行]

JR多賀城駅発8:00～15分間隔で運行

※駐車場に限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関、シャトルバスをご利用下さい。

最終 多賀城駅発　10月24日　16:15発　10月25日　14:45発
最終 夢メッセ発　10月24日　17:30発　10月25日　16:30発

入場無料：どなたでもご覧頂けます

継続学習制度（CPDS）認定プログラム（(一社)全国土木施工管理技士会連合会認定）

■主　　催　EE東北実行委員会（委員長：東北地方整備局　企画部長）
■構成団体　社団法人日本建設業連合会東北支部、一般社団法人日本道路建設業協会東北支部、一般社団法人日本建設機械施工協会東北支部、全国コンクリート製品協会東北支部、一般社団法人全国特定法面保護協会東北地方支部、東北建設業協会連合会、社団法人東北建設協会、社団法人日本埋立浚渫協会東北支部、一般社団法人建設電気技術協会東北支部、東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、東日本高速道路株式会社東北支社
■後　　援　公益社団法人土木学会東北支部・一般社団法人建設コンサルタンツ協会東北支部・一般財団法人日本建設情報総合センター・財団法人先端建設技術センター・河北新報社・日刊建設工業新聞社東北支社・株式会社日刊建設通信新聞社東北支社・日刊建設産業新聞社・株式会社建設新聞社・宮城県赤十字血液センター

■お問い合わせ先　EE東北実行委員会事務局　〒985-0842 宮城県多賀城市桜木3丁目6番1号
TEL.022(365)8047　FAX.022(365)5938　E-mail　tougi@thr.mlit.go.jp